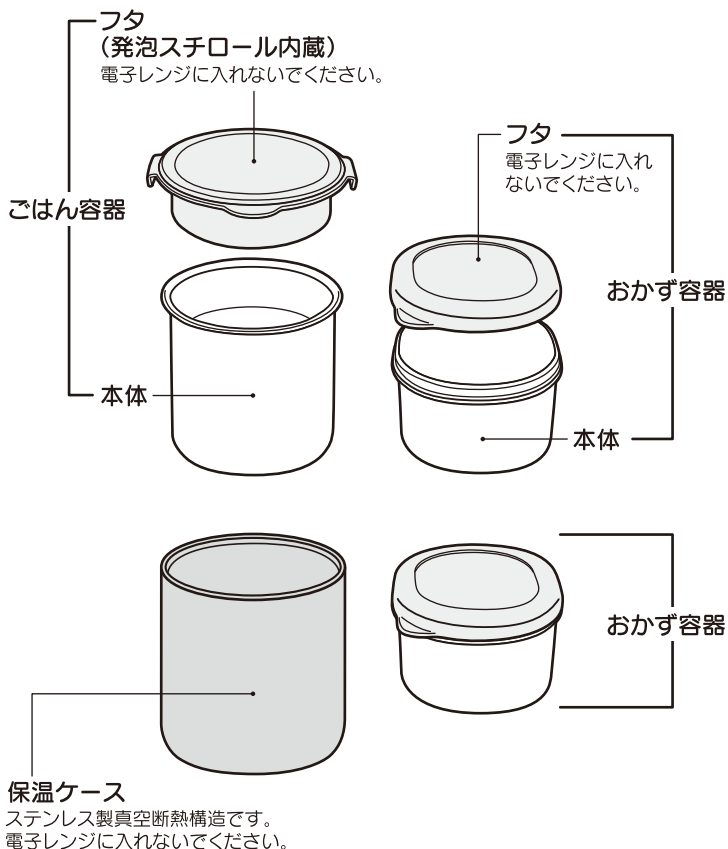


取扱説明書

このたびはサーモス・保温弁当箱をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。そして、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。

各部のなまえ

ご使用前に、各部品がそろっていることを確認してください。



専用ポーチ付き

ご使用方法

ご使用前に各容器・フタを食器用中性洗剤で十分に洗ってください。

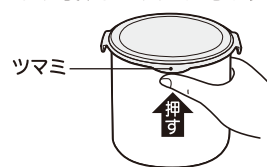
下記ご使用方法をお守りいただくことで、一年中ご使用いただけます。

① 保温ケース・フタをはずす

① 保温ケースからごはん容器を取り出します。



② ごはん容器フタのツマミに指をかけて押し上げ、フタをはずします。



保温ケース・ごはん容器に少量の熱湯を入れ、1分程度予熱すると保温効果が高くなります。

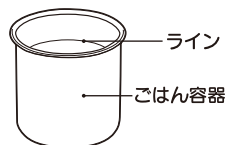
※おかず容器は予熱しないでください。

※予熱後はその湯を捨て、水分を拭き取ってください。

② ごはん容器にごはんを入れる

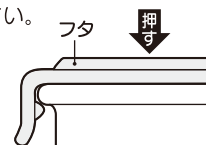
① ごはん容器に熱いごはんを入れ

ます。
※ごはんの量はラインの位置
までにしてください。



② フタを閉め、ごはん容器を保温

ケースに入れます。
※フタは“カチッ”と音がするまで
押し込んで、確実に閉めてくだ



よりあたたかくお召し上がりいただくために、ごはんは炊きたて、保温中にかかわらず、お出かけ前にごはん容器に入れて電子レンジであたためることをおすすめします。

※ごはん容器フタははずしてください。

③ おかず容器におかずを入れる

① よく冷ましたおかずを入れます。

② おかず容器とフタのふちを合わせて、容器内の空気を押し出すようにフタ中央部を押した後、ふちをまんべんなく押し、確実に閉めます。



④ 専用ポーチに収納する

ごはん容器、おかず容器を専用ポーチに収納します。

※おかず容器を使わない場合でも、必ずごはん容器の横におかず容器を入れてください。

ご注意とお願い

やけどや食品の変質、製品の汚れや損傷を防ぐために、以下のことを必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

 警告	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。
 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。

安全上の注意

警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには十分に注意してください。

* やけどやけがの原因になります。



 禁止

注意

弁当箱以外の用途には使用しないでください。

 禁止

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

* やけどや変形・変色の原因になります。

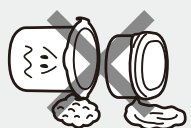


 禁止

横置きにしないでください。

またごはん容器・おかず容器にスープ類を入れないでください。

* 漏れて、やけどやものを汚す原因になります。



 禁止

ご使用の際は必ず専用ポーチに収納し、ごはん容器・おかず容器を両方入れてください。

* 保温効力が低下する原因になります。また容器が傾き、漏れてやけどやものを汚す原因になります。

 必ずおこなう

おかずをよく冷ましてからおかず容器のフタをしてください。

* 腐敗の原因になります。

 必ずおこなう

食品はできるだけ早く(6時間以内)一度にお召し上がりください。

* 腐敗の原因になります。

 必ずおこなう

車の中など高温になるところには放置しないでください。

* 腐敗の原因になります。

 禁止

食品を長時間保存しないでください。

また生もの・乳製品などは入れないでください。

* 変質や腐敗の原因になります。

 禁止

お手入れの際、次の点を必ず守ってください。

● 保温ケース・ごはん容器フタは水中に放置しないでください。

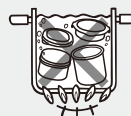
* すきまに水が浸入し、漏れてものを汚したり、さびや保温不良などの原因になったりします。



 禁止

● 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。

* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。



 禁止

● 各容器及びフタは煮沸しないでください。

* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。

 禁止

● おかず容器のフタは70度以上の湯に入れないでください。

* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。

 禁止

保温ケースは電子レンジに入れしないでください。

* 保温ケースは金属製のため、スパークして電子レンジが故障する原因になります。



 禁止

ご注意とお願い

やけどや食品の変質、製品の汚れや損傷を防ぐために、以下のことを必ずお守りください。

電子レンジで各容器の食品を加熱する際は、次の点を必ず守ってください。

- 各容器のフタは入れないでください。
* 部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止
- オープン・グリル機能で使用しないでください。
他の料理でオープン・グリルを使用した後、加熱する場合は庫内が冷めてから使用してください。
* 部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止
- 各容器は空の状態加熱しないでください。
* 部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止
- 油分・糖分の多い食品は長時間加熱しないでください。
* 部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止

落とす、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。

- * けがや漏れの原因になります。
- * また保温不良の原因になります。



⊙ 禁止

改造・分解・修理は絶対にしないでください。

- * 故障・事故の原因になります。(修理はお買い上げの販売店またはお客様相談室にご相談ください。)
【P.8】 ⊙ 禁止

使用上のお願い

保温ケースに食品を直接入れないでください。

- * さびの原因になります。



⊙ 禁止

匂いの強いものや色素の濃いおかず類(たくあん・ホウレン草・シソなどの有色野菜)はラップフィルムやクッキングホイルに包んで入れてください。

- * 直接入れると、匂いがついたり、色素が染み込んで変色したりする原因になります。

カレーなど食品の色が容器に残ることがありますが、品質上問題ありません。

- * 各容器はキッチン用漂白剤の使用書に従って正しく使用し、汚れや臭いを落とした後、よく洗い十分乾燥させてください。

ポーチのファスナーはゆっくり動かしてください。

お手入れ方法

臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

- お手入れはぬるま湯でうすめた食器用中性洗剤を使用してください。
- 汚れが落ちない場合は、下表に従って漂白剤(目安:30分)を使用してください。
- 長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

部品名	洗い方	お手入れ方法
おかず容器フタ おかず容器 ごはん容器	○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 漂白剤	きれいに洗い、水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
ごはん容器フタ	○ 流水洗い ✕ つけ洗い ✕ 漂白剤	きれいに洗い、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
保温ケース	内側 ○ 流水洗い ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤	きれいに洗い、十分乾燥させてください。
	外側 ○ 流水洗い ✕ つけ洗い ✕ 漂白剤	きれいに洗い、すぐに乾いた布で水分を拭き取って、十分乾燥させてください。
ポーチ		水または30度以下のぬるま湯で軽く手洗いしてください。

お手入れ上の注意

お手入れ前によくお読みの上、必ずお守りください。

- 保温ケース・ごはん容器フタは水中に放置しないでください。
* すきまに水が浸入し、漏れてものを汚したり、さびや保温不良などの原因になったりします。 ⊙ 禁止
- 食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。
* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止
- 各容器及びフタは煮沸しないでください。
* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止
- おかず容器のフタは70度以上の湯に入れしないでください。
* 熱により部品が変形し、漏れなど故障の原因になります。 ⊙ 禁止

- シンナー・ベンジン・金属タワシ・みがき粉・クレンザーは使用しないでください。
* さびや傷などの原因になります。 ⊙ 禁止
- 保温ケース内側は塩素系漂白剤を使用しないでください。
* さびや保温性能が低下する原因になります。 ⊙ 禁止
- 保温ケース外側は漂白剤を使用しないでください。
* 塗装・印刷・シールなどはがれの原因になります。 ⊙ 禁止

こんなときは・・・

分からないことがありましたら、
以下の項目をお確かめください。

不具合	原因	対処方法
ごはんの 保温が 効かない	熱いごはんを入れて いない	熱いごはんを入れてください。 【  P.2①②】
	入れる量が少ない	量を多くすると効果的です。
保温ケース 内側が変色 した	汚れが付着している	酸素系漂白剤を使用してください。 【  P.6】
	斑点状の赤いさびが 付着している	水に含まれる鉄分などが付着したもの です。食酢を10%程度入れたぬるま湯を 保温ケースに入れ、約30分後によく洗って ください。
容器が 変色した・ 臭いがする	汚れが付着している	きれいに洗い、十分乾燥させてください。 汚れや臭いが取れない場合はお手入れ 方法に従って漂白剤を使用してください。 【  P.6】
フタが 閉まらない	フタ・容器が破損・ 消耗している	別売の交換用部品をお買い求めください。 【  P.8】
食品が 腐敗した	長時間保存している	できるだけ早く(6時間以内)一度にお召し 上がりください。
	生もの・乳製品などを 入れている	生もの・乳製品など変質や腐敗しやすい 食品は入れないでください。
	あたたかいおかずを おかず容器に入れて いる	おかずをよく冷ましてからおかず容器の フタをしてください。

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合はお客様相談室にご相談ください。【 P.8】

仕 様

部品名	材料の種類	耐熱・耐冷温度
おかず容器フタ	ポリエチレン	70度 -20度
おかず容器本体	ポリプロピレン	140度 -20度
ごはん容器フタ	ポリプロピレン(発泡スチロール内蔵)	90度 -20度
ごはん容器本体	ポリプロピレン	140度 -20度
保温ケース	ステンレス鋼(アクリル樹脂塗装)	—

●上記の樹脂製部品は全て食品衛生試験に合格した樹脂を使用しています。

交換用部品のご案内

■本製品の各部品は、下表の部品名で別売しています。

品番	部品名	メーカー希望小売価格(税込)
DBJ-250 DBJ-250B DBJ-250DS	おかず容器セット*1	420円
	おかず容器フタ	210円
	おかず容器本体	210円
	ごはん容器セット*2	525円
	ごはん容器フタ	315円
	ごはん容器本体	210円
	ポーチ	840円

*1 おかず容器セット(おかず容器本体・おかず容器フタ各1個)

*2 ごはん容器セット(ごはん容器本体・ごはん容器フタ各1個)

◆容器本体・フタは消耗品です。1年を目安にご確認いただき、表面にザラつきや損傷がある場合は、交換してください。

【交換用部品のお求め方法】

①インターネット… <http://www.thermos.jp/> からお求めください。

取り寄せ (取り扱い部品が限られておりますが、ご了承ください。)

②販売店取り寄せ… サーマス製品を取り扱っている販売店(デパート・スーパー・ホームセンターなど)で、品番・部品名・色名・数量をご確認の上、お求めください。

③お客様相談室…… お電話でお申し込みください。代金のお支払いは部品といっしょにお届けする郵便局の払込取扱票にてお願いいたします。

※部品価格は改定させていただく場合がございます。

●お預かりした個人情報、部品の発送、関連するアフターサービスのために利用いたします。

お客様の個人情報をお客様の同意なしに第三者に開示提供することはありません。
なお、お客様の個人情報はサーモス(株)にて管理させていただきます。

お問い合わせ

製品の品質管理には、万全の注意を払っておりますが、万一製品に不具合が生じたときや製品に関するご不明な点・ご質問などございましたら、下記お客様相談室までお問い合わせください。

サーモスお客様相談室

■受付時間：月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
(9:00～12:00、13:00～17:00)

TEL 0256-92-6696

〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地
サーモス株式会社 お客様相談室

製品の改良・改善のために仕様の一部を予告なしに変更することがあります。そのためイラストと製品とは多少異なる場合がありますが、ご了承ください。